

LNTトレーナーコース最優秀ティーチングを体感しよう

発表者：岡村泰斗 (Leave No Trace Japan)



リーブノトレイス (LNT:エルエヌティー) とは、環境へのインパクトを最小限にしてアウトドアを楽しむためのテクニックです。7つの原則からできており、誰にでも分かりやすく、簡単に実践することができます。日本国内での活動は、2013年にWEAJが国内で初めてマスターエドゥケーターコースを開催し、指導者養成が始まりました。2021年には、NPO法人リーブノトレイスジャパンとして独立し、LNTの教育と普及を引き継ぐこととなりました。

LNTの教育体系には、アウェアネスワークショップ、トレーナーコース、マスターエドゥケーターコースの3段階があります。アウェアネスワークショップは、一般のアウトドアユーザーを対象にしたLNTの体験プログラム、トレーナーは、そのワークショップを開催できる指導者、マスターエドゥケーターは、トレーナーの育成ができる指導者となっています。つまり、3つの教育体系の中で、トレーナーは、一般のアウトドアユーザーに対して、LNTを楽しく、分かりやすく伝える役割をになった、LNTの教育、普及において、極めて重要な、最前線の指導者と言えます。活躍の場としては、キャンプカウンセラー、アウトドアガイド、アウトドアセンタースタッフ、キャンプ場スタッフ、学校教員などが挙げられます。

そのトレーナーを育成するトレーナーコースは、2日間のカリキュラムで構成され、LNT 7原則の基礎を理解だけでなく、それらを体験を通じて、参加者に分かりやすく伝えるか、ティーチングスキルの獲得が最も重要な目標となります。参加者は一人1回以上特定のトピックスでLNTのティーチングを行い、受講者役となった参加者全員で、そのティーチングがどうしたらより良くなるか徹底的にフィードバックを行います。こうして、2日間のカリキュラムが終わる頃には、参加者全員が、魅力的なLNTティーチャーへと成長します。

このワークショップでは、WEAJカンファレンス直前に行われる「LNTトレーナー下関コース」において、最も魅力的だったティーチングを、カンファレンス参加者と一緒に体感したいと思います。LNTのどのトピックスを学べるかは、蓋を開けてみてのお楽しみ。LNTの必要性を理解するだけでなく、なぜLNTのワークショップがどれも面白いのか、プログラム作りの「秘密」にも迫ってみたいと思います。LNTだけでなく、みなさんの野外指導のスキルアップにつながるヒント満載のワークショップです。

